

令和3年度(2021年)公益財団法人 音楽文化創造 事業計画

【目的】

当財団は、平成6年に制定された「音楽文化の振興のための学習環境の整備に関する法律」(略称:音楽振興法)の趣旨に基づき、音楽に関する文化活動を幅広く振興すると共に、生涯学習の一環としての音楽学習の活性化を図り、わが国の音楽文化の発展と音楽を通じた国際音楽の促進に寄与することを目的としている。令和3年度はこの目的に沿って事業を展開する。

【公益目的事業】

1. 音楽に関する国内外の協議会、講演会等の開催及びその開催のための協力

音楽振興法の精神に基づき、全国各地域の音楽文化振興と生涯学習を普及推進していくことを目的に全国生涯学習音楽指導員協議会主催「FORUM in 国際音楽の日 2021 オンライン」の開催のために協力、協賛する。

- <サブタイトル> オンラインで広がる邦楽・洋楽・コラボレーションの世界(仮)
- <実施日程> 2021年10月17日(日)
- <会場> Zoom形式で各支部を繋ぎオンライン配信
- <主催> 全国生涯学習音楽指導員協議会
- <主管> FORUM in 国際音楽の日 2021 オンライン 実行委員会
- <協賛> 公益財団法人 音楽文化創造
- <参加者> 生涯学習音楽指導員、地域音楽コーディネーター、教育関係者、音楽関係者
自治体関係者 他
- <参加者目標> 250名
- <内容> 基調講演、タンバリンワークショップ、リモートアンサンブル、支部研究発表 他

2. 「国際音楽の日」の普及のための事業、その他音楽を通じた国内外の文化交流事業の実施

「国際音楽の日」の普及と地域の音楽振興のため、音楽団体や公共施設と連携して「国際音楽の日記念コンサート」等の実施を支援する。

- <実施期間> 2021年9月1日～12月31日
- <開催地> 全国各地の公共ホール、高校・大学ホール、生涯学習センター 等
- <開催目標> 全国10か所
- <内容> 合唱、ミュージカル、吹奏楽、洋楽と邦楽のコラボレーション 等
- <出演者> 公募による地域の子どもから大人 他
- <入場者数> 各コンサート 50名～1,500名

3. 音楽学習に関する指導員の養成プログラムの開発及び実施

① 地域音楽コーディネーター養成講座

地域において音楽による文化振興を推進するために音楽家、地域住民、諸機関等関係者間の連携を図る人材を育成する講座を実施する。受講修了後「地域音楽コーディネーター」の資格を認定する。対象者は地域において音楽による社会貢献活動、社会文化活動に携わっている方々、今後始めようとしている方々等。

<内容>

「生涯学習と音楽」

生涯にわたって音楽を学び続ける意味、地域コーディネーターに求められる役割

「文化と地方創生」

地域の文化政策と文化芸術活動による地域創生の可能性と課題

「地域文化マネジメント」

地域コミュニティ音楽文化活動の現状と課題

「音楽企画書の書き方」

わかりやすい企画書、申請書、報告書の書き方

<日程と会場>

2021年 7月10日(土)	講師:久保田慶一氏 他3名 (東京経済大学客員教授)
2021年 9月26日(日)	講師:志々田まなみ氏 他3名 (国立教育政策研究所統括研究官)
2021年 11月 6日(土)	講師:梶田美香氏 他3名 (名古屋芸術大学教授)
2022年 1月30日(日)	講師:河原啓子氏 他3名 (国立音大、武蔵野美大講師)
2022年 3月 6日(日)	講師:近藤真司 他3名 (日本青年館「社会教育」誌 編集長)

<受講者目標数>

計200名 (各回 40名 X 5会場)

② 地域音楽コーディネーター探究講座

<内容>

「実践にあたっての知識」

地域音楽コーディネーターの活動に役立つ実践的ノウハウについて各業界の専門家に伺う

「実践紹介」

各地の街おこし、地域活性化を推進しているリーダーに体験談、運営のコツ等を伺う

「座談会」

各地でNPO法人として活動している地域音楽コーディネーターとの意見交換会

<日程と会場>

2021年 7月11日(日)

講師:塚本伸介氏 他
(姫路市 姫音祭実行委員長)

2022年 3月13日(日)

講師:山地真美氏 他
(情景描写ピアニスト)

<受講者目標数>

計30名 各15名 × 2会場

③ 動画で学ぶワンポイント口講座

<内容>

地域音楽コーディネーターが活動する上で役に立つ実践スキルを学ぶ動画セミナー。いつでもどこでも学習出来るようにオンデマンドで配信。コンテンツは、今後以下のジャンルを順次アップ予定。

- ・スキルアップ(例:プレゼンテーションスキル、ファシリテーションスキル、動画編集スキル等)
- ・キャリアデザイン(例:フリーランスのライフプラン、アーティストのセルフマネジメント等)
- ・企画立案(例:音楽企画書の書き方、活動事例研究)
- ・ビジネスモデル(例:戦略立案、Zoom他配信スキル、プロデューサーの仕事術等)
- ・ファイナンス(例:助成金申請の仕方、クラウドファンディング他ファンドレイジングスキル等)
- ・マーケティング(例:集客宣伝方法、SNS活用法、ネット上でのプロモーション等)
- ・法人設立(例:NPO設立の基礎、一般社団法人設立の基礎、法人運営のマニュアル等)

4. 音楽に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- ① 文化庁が行う「地域文化倶楽部」モデル事業に関する調査研究に参画し、学校文化部活動への地域による支援方法、運営体制、また、学校派遣指導員の育成、指導法、認定基準等の開発のため、調査研究並びに情報収集を行う。また適時Webサイトによる情報発信を行う。
- ② 地域音楽コーディネーター及び公共施設、関係音楽団体等と連携し、吹奏楽、邦楽のオンラインレッスンをサポートし遠隔レッスンの手法、課題と対策等に関し調査研究を行いオンライン化の普及啓蒙につなげる。
- ③ 地域音楽コーディネーターが各地域で推進している町おこし活動や地域の活性化活動を研究し、必要条件、課題や対策、行政との関係等について調査研究を行い弊財団が行う人材育成事業等に活かす。また、適時Webサイトによる情報発信を行う。

【その他の事業】

1. 音楽に関する出版物の編集及び発行

当財団の公式サイト(<http://www.onbunso.or.jp>)上で生涯音楽学習に関する特集テーマと研究論文を中心に、各地域での音楽文化振興への取り組みや音楽学習活動の研究等も取り上げた音楽文化と生涯音楽学習の総合情報・研究誌「音楽文化の創造」(CMC=Creating Music Culture)を年4回発信する。また創刊から78号までのバックナンバーについても公式サイトで掲示し、常時申込みにより販売する。

- ・VOL.16 (4月) パフォーマンス文化
- ・VOL.17 (7月) 変わる音楽活動と外部指導員
- ・VOL.14 (10月) 未定(3月27日編集委員会で決定)
- ・VOL.15 (1月) 未定(3月27日編集委員会で決定)